

(学年) 第3学年、(教科・科目) 社会科・公民分野

一斉学習

(単元) 企業と経済

(本時のねらい)

- ①企業には商品の生産以外にも、雇用の提供や技術革新の取り組みなど多様な役割があることを理解させ、企業がその役割を果たすため、どのような具体的な活動ができるか考え、表現する。
- ②働く意義を認識しながら、多様で柔軟な働き方を実現するために、どのような職場環境が求められるか具体的に考え、表現する。
- ③企業と地域の人々や地域社会との関わり、国際社会とのつながりを求められている中、企業が社会的責任をどのような活動を通じて果たしていくべきか考え、表現する。

(ICT活用方法)

授業支援クラウドアプリを使って、グループで意見を共有できるようにした。

ワークシートを授業支援クラウドアプリにすることにより、自分の学習内容を振り返りやすいようにした。

(本時の展開)

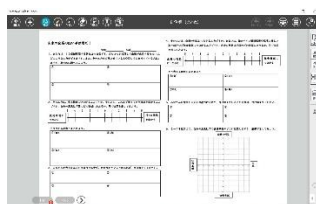
時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 2分	・本時の活動内容やねらいを把握する。		
展開 45分	<p>1. 単元のまとめ(学びの成果)を生かして、企業の社長として活躍するために、どのような工夫ができるか書く。</p> <p>2. 1で書き出した工夫が「技術革新」「伝統を生かす」のどちらにつながる活動か考える。</p> <p>3. 1で書き出した工夫が「企業の利益」「社会貢献」のどちらにつながる活動か考える。</p> <p>4. 2と3を考えたこと</p>	<p>・授業支援クラウドアプリを使って、グループで意見を共有できるようにする。</p> <p>・「技術革新」「伝統を生かす」のどちらにつながる活動かを考える中で、新しく気付いたことを付け加える。</p> <p>・「企業の利益」「社会貢献」のどちらにつながる活動かを考える中で、新しく気付いたことを付け加える。</p> <p>・座標平面の位置によっ</p>	<p>・授業支援クラウドアプリを使って、グループで意見を共有。</p> <p>・ノートの代わりに利用している。</p>

	<p>をまとめ、まとめた「工夫」が座標平面のどこに位置付けるか決める。</p> <p>5. 4でまとめた工夫をグループで共有し、どのような企業を作るか相談して、社長の言葉を完成させる。</p>	<p>て、その工夫をどう表現できるか考える。</p>	
<p>まとめ 3分</p>	<p>・工夫を考えることで、将来自分がどのような企業、労働環境で働きたいかを考えるきっかけになったか問いかけ、まとめとする。</p>		

## (授業の様子)



教材投影方法



ワークシート

## (生徒の反応と課題、改善を要する点)

常に授業支援クラウドアプリを利用して授業を行っているため、生徒も授業支援クラウドアプリの使い方に慣れてきている。すべてのワークシートがデータとして残っているので、紛失の心配も無く、テスト前などに見直すことができ便利である。

ちょっとしたメモや気付きを書くときにデジタルワークシートは不便なときがある。